

第6章 歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

6-1 歴史的風致維持向上施設の整備・管理の考え方

計画における歴史的風致維持向上施設とは、地域における歴史的風致の維持向上に寄与する公共施設等であり、整備と適切な管理を行うことにより歴史的風致の維持向上を図る。

具体的には、歴史的建造物・遺構の保全、利活用に向けて、引き続き史跡慧日寺跡整備事業を推進するとともに、適切な方法で公開を推進する。史跡の整備に当たっては、歴史的建造物や歴史的文化遺産の調査を実施し、文化財の適切な保全、利活用を推進する。

また、歴史的風致に係る活動の保存・継承に向けて、慧日寺の歴史を継承し、保護する団体の組織化や育成を図るとともに、シンボリックな事業として、史跡慧日寺跡金堂展示物の制作に取り組む。また、舟引き祭り、巫女舞等の民俗文化財の継承を推進する。

歴史的風致の周辺環境については、文化財調査を推進し、景観行政団体を目指しながら、独自の景観計画の策定に取り組むとともに、慧日寺の参道及びアプローチを含めた参道周辺における歴史的景観の整備や門前町のにぎわいを創出する。また、慧日寺の存在を背景に宿駅として発展した大寺地区の歴史的風致の保全・復興を推進する。

さらに、歴史的風致の普及啓発に向けて、歴史的建造物や遺構等に触れる機会や、学習する機会を充実し、町民の意識向上や誇りの醸成に取り組む。また、町内の集客交流拠点との連携強化に向けた施設整備、一体的な管理運営の仕組みを整備する。

【歴史的な建造物・遺構の保存、公開】

- (1) 史跡慧日寺跡整備事業
- (2) 歴史的建造物保存事業
- (3) 歴史的文化遺産調査事業
- (4) 歴史的まちなみ防災対策事業

【歴史的風致に係る活動の保存・継承】

- (5) まちづくり団体設立・育成支援事業
- (6) 伝統文化財継承事業

【歴史的風致の周辺環境の整備】

- (7) 磐梯町景観計画策定事業
- (8) 歴史的まちなみ整備事業
- (9) 慧日寺参道整備事業
- (10) 慧日寺門前市整備事業
- (11) 花川自然石護岸及び水路改修事業

- (12) 大寺城跡の調査・保全整備事業
- (13) 大寺地区歴史的風致保全事業
- (14) 史跡慧日寺跡へのアプローチ整備事業
- (15) 大型バス迂回路整備事業

【歴史的風致の普及啓発の推進】

- (16) 磐梯山慧日寺資料館リニューアル事業
- (17) 史跡慧日寺跡活用事業
- (18) 歴史的資源周知サイン整備事業
- (19) 磐梯町の文化財を紹介する冊子とマップ作成事業
- (20) 文化遺産に関する総合的な情報発信事業
- (21) 歴史を活かしたまちづくり推進事業
- (22) 歴史的風致紹介ガイド育成事業
- (23) 広域連携推進事業
- (24) 道の駅情報発信機能充実事業
- (25) 史跡慧日寺跡と道の駅ばんだいを連結するアクセス道の整備
- (26) 歴史まちづくり推進機構の設立
- (27) 磐梯町歴史文化読本作成事業

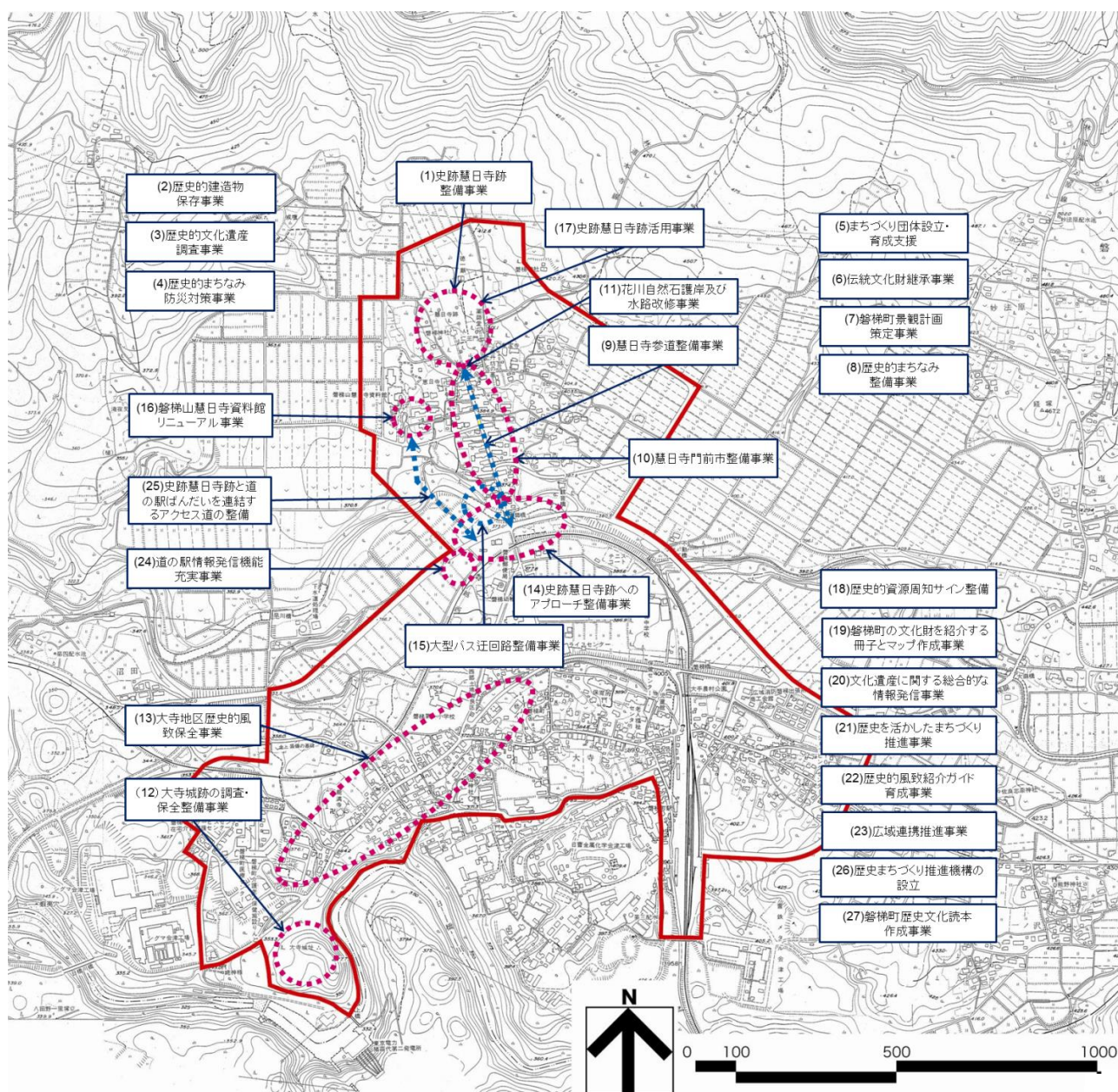


図 歴史的風致の維持向上に向けて推進すべき事業の展開箇所

6-2 歴史的風致維持向上に資する事業

【歴史的な建造物・遺構の保存、公開】

(1) 史跡慧日寺跡整備事業

区分	内容
事業名	史跡慧日寺跡整備事業
事業主体	磐梯町
事業手法	町単独事業
関連計画	史跡慧日寺跡保存管理計画
事業期間	平成 15 年度～平成 37 年度
事業位置	<p>史跡慧日寺跡</p> 
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 15 年(2003)度から着手している史跡整備事業の継続 <ol style="list-style-type: none"> 1. 建物遺構の復元整備を図る伽藍修景整備 2. 仁王門・薬師堂など、現存する建物を利用した現況修景整備 3. 史跡としての環境を整えるための植栽修景整備 4. 史跡来訪者のための周遊路修景整備 など ・史跡としての案内表示の充実 など
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>史跡慧日寺跡は、門前町として発展した本町の原点というべき地点であり、地域住民の心の拠り所として存在している。継承・復元活動が行われる史跡の適切な復元、整備により、史跡への理解が高まり、地域のアイデンティティの強化を促進することで、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

(2) 歴史的建造物保存事業

区分	内容
事業名	歴史的建造物保存事業
事業主体	磐梯町
事業手法	町単独事業 集約促進景観・歴史的風致形成推進事業(平成28年度～平成30年度)
関連計画	
事業期間	平成28年度～平成37年度
事業位置	重点区域全域
事業概要	<p>歴史的まちなみを確保するために、歴史的風致形成建造物及び付随する塀、石垣などについて、地域の歴史的な技術や手法を踏襲し、歴史的まちなみに調和するよう建物の外観等の修景を行うとともに、改修等に対して支援を行う。</p> <div> <div> <p>現況</p>  </div> <div> <p>現況</p>  </div> </div> <p>慧日寺参道沿いに広がる民家</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>史跡慧日寺跡を背景とした大寺・本寺地区のまちなみは、古民家等の歴史的建造物により構成されているが、所有者の高齢化や修繕費用の負担が大きいこと等が影響し、適切な修繕がなされていない建造物が多く、歴史的なまちなみの風情が損なわれている。本事業の実施により、歴史的建造物の所有者の負担軽減が図られ、慧日寺参道沿いの歴史的なまちなみが継承・維持されることで歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

(3) 歴史的文化遺産調査事業

区分	内容
事業名	歴史的文化遺産調査事業
事業主体	磐梯町
事業手法	町単独事業
関連計画	
事業期間	平成 27 年度～平成 37 年度
事業位置	磐梯町全域
事業概要	<p>・町内に点在する歴史的価値がある建造物・石垣・水路等、十分に調査されていない歴史的文化遺産の実態を把握し、適切に保全、利活用を推進するため、歴史的文化遺産の調査を行う。</p> <p>・慧日寺参道及び周辺地域の整備に向けて、まちなみの調査を実施する。</p> <p>・実態が十分に把握されていない歴史的建造物等について、所在や建築年代、建築技法等の悉皆調査を行う。</p> <div data-bbox="432 1010 879 1305" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="887 1010 1334 1305" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">慧日寺参道沿いのまちなみと建物の悉皆調査</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>本寺地区を中心とする歴史的文化遺産を後世へ継承するために調査を行い、歴史的文化遺産の実態を把握し、今後の利活用や歴史的風致形成建造物への指定を推進することで歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

(4) 歴史的まちなみ防災対策事業

区分	内容
事業名	歴史的まちなみ防災対策事業
事業主体	磐梯町
事業手法	町単独事業
関連計画	磐梯町地域防災計画
事業期間	平成 30 年度～平成 37 年度
事業位置	重点区域全域
事業概要	歴史的建造物が数多く立地する本寺地区を中心として、放水銃や消火栓、歴史的建造物の耐火性向上など地域防災施設の整備を行い、地域の防災性を高める。
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	過去に本寺地区や大寺地区では大火に見舞われたことを踏まえ、放水銃や消火栓、歴史的建造物の耐火性向上に関する整備を行うことにより、歴史的風致を形成する建造物を火災と延焼から守る。整備の際には、周辺景観に配慮した整備を行うことで地域の歴史的まちなみの防災性の向上が図られるとともに、文化財等の防災設備の整備や体制の強化を行うことで、住民の文化財や防災に対する意識の高揚に資することになり、歴史的風致の維持向上に寄与する。

【歴史的風致に係る活動の保存・継承】

(5) まちづくり団体設立・育成支援事業

区分	内容
事業名	まちづくり団体設立・育成支援事業
事業主体	磐梯町
事業手法	町単独事業
関連計画	
事業期間	平成 28 年度～平成 37 年度
事業位置	磐梯町全域
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・保存団体が解散したことを踏まえ、慧日寺の歴史を継承し、保存活用を行うまちづくり団体の組織化や育成を図り、保全、利活用に向けた取り組みを活性化する。 ・史跡慧日寺跡の保存・活用に係るまちづくり団体の活動経費の一部について、助成金を交付し支援する。
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	歴史を活かしたまちづくりを推進する上では、地域住民の協働による取り組みが必要である。まちづくり団体の設立を通じて、住民の意識向上が図られ、慧日寺の保全、利活用に向けた取り組みを継続的に展開できるようになり、歴史的風致の維持向上に寄与する。

(6) 伝統文化財継承事業

区分	内容
事業名	伝統文化財継承事業
事業主体	磐梯町
事業手法	町単独事業
関連計画	
事業期間	平成 28 年度～平成 37 年度
事業位置	磐梯町全域
事業概要	<p>・県指定重要無形文化財である磐梯神社の舟引き祭りと巫女舞、町指定民俗文化財である赤枝彼岸獅子舞等の祭礼や地域の民俗芸能について、その価値に対する認識の向上と承継保存を促進するため、地域の民俗文化財に用いる用具等に対する助成制度の充実を図る。</p> <p>・江戸時代以来途絶えている明神の舞や現在活動を休止している火伏せの火渡りなどの祭礼の再興を図る。</p> <div data-bbox="625 981 1136 1321" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">巫女舞の練習風景</p> <div data-bbox="584 1429 1181 1695" data-label="Image"> </div> <p style="text-align: center;">慧日寺に伝えられている年中行事である明神の舞</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>過疎化や少子高齢化のため後継者が減少し、担い手不足により活動の継承が危惧される。このため、後継者の育成しやすい環境を整備し、地域住民が一体となった活動を継続して支援することで、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

【歴史的風致の周辺環境の整備】

(7) 磐梯町景観計画策定事業

区分	内容
事業名	磐梯町景観計画策定事業
事業主体	磐梯町
事業手法	町単独事業
関連計画	福島県景観計画
事業期間	平成 28 年度～平成 30 年度
事業位置	磐梯町全域
事業概要	史跡慧日寺跡周辺地域が、福島県景観計画における景観形成重点地域に指定されていない現状を踏まえ、慧日寺跡を含む文化財と磐梯山の自然との一体的な景観形成の方針の確立に向けて、本町独自の景観計画を策定する。
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	史跡慧日寺跡と磐梯山の自然との一体的な景観形成を図り、慧日寺跡を守り紡いできた思いや歴史的な経過を踏まえ、慧日寺跡を中心とする地区の優れた景観、歴史的資源を活かした景観を向上することで、歴史的風致の維持向上に寄与する。

(8) 歴史的まちなみ整備事業

区分	内容
事業名	歴史的まちなみ整備事業
事業主体	磐梯町
事業手法	町単独事業
関連計画	
事業期間	平成 27 年度～平成 37 年度
事業位置	重点区域全域
事業概要	<p>歴史的まちなみを確保するために、歴史的風致形成建造物以外の歴史的な建物や塀、石垣などについて、地域の歴史的な技術や手法を踏襲し、歴史的まちなみに調和するよう外観等の修景を行う。</p> <div> <div>整備前</div>  <div>整備イメージ</div>  </div>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>史跡慧日寺跡が存在する本寺地区における歴史的まちなみを再生し、まちなみの連続性を創出することにより、地区全体の歴史的まちなみの風情を醸し出す環境を整備することで歴史的風致維持向上に寄与する。</p>

(9) 慧日寺参道整備事業

区分	内容
事業名	慧日寺参道整備事業
事業主体	磐梯町
事業手法	町単独事業 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)
関連計画	
事業期間	平成 30 年度～平成 37 年度
事業位置	慧日寺参道 
事業概要	<p>慧日寺の開基以降、中世には整備されていた参道の歴史的な価値を広く町民と共有するため、慧日寺参道及び恵日寺へのアプローチ道路において、無電柱化、参道沿いの水路の整備、植栽空間の創出等(町単独事業)のほか、参道の美装化、融雪機能の整備を通じて一体的なまちなみ空間を演出できる景観改善を推進する。また、整備にあたっては生活交通に支障を来さないように生活用道路を含めた交通誘導について検討する。</p> <div> <div>  <p>現況</p> </div> <div>  <p>現況</p> </div> </div>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>参道の美装化、無電柱化等を通じて、往時の歴史的雰囲気を感じさせる景観形成を推進することによって、往来する人々の回遊性及び魅力的な景観の向上が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

(10) 慧日寺門前市整備事業

区分	内容
事業名	慧日寺門前市整備事業
事業主体	磐梯町
事業手法	集約促進景観・歴史的風致形成推進事業、町単独事業
関連計画	
事業期間	平成 28 年度～平成 32 年度
事業位置	<p>慧日寺参道</p> 
事業概要	<p>かつて本寺地区が慧日寺の門前町であったことになり、毎年秋に開催されている「慧日寺門前市」の取り組み等も踏まえ、常設施設を整備する。慧日寺参道沿いの町有物件を活用し、歴史的景観を象徴するファサードをもつ観光案内所を兼ね備えた地域のにぎわいを創出するための地域活性化の拠点となる多機能型施設を整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地酒コーナー ・地場産品コーナー ・土産品コーナー ・ポケットパーク(休憩スペース) など <div>  <p>門前市整備イメージ</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・ 栗川など、地酒の販売促進   <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域産品の開発、販売 </div> <div> <p>【コンセプト】 ばんだい慧日寺門前プラザ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 慧日寺跡と道の駅の結節機能の整備、参道のリノベーション促進 ・ 地域ブランドの向上 ・ 地域産品の振興 <p>アンテナショップ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地酒販売 ・ オリバー市ワイン販売 ・ 地酒・ワインに合う特産品販売等 <p>飲食機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ レストラン ・ 立ち飲みバー 等 <p>交流・PR機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光案内 ・ ガイド紹介 ・ まちづくり交流 等 </div> <div>   <ul style="list-style-type: none"> ・ 慧日寺跡と道の駅を結ぶ  <ul style="list-style-type: none"> ・ お酒を通じた国際交流 ・ カナダオリバー市のアイスワインの販売 ・ 栗川など地酒をオリバー市等に輸出 </div>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>かつての門前町としての歴史を活かす象徴的な地域活性化の拠点となる施設整備を通じて、歴史的な景観形成の誘導を図り、参道のにぎわいを創出することで、歴史的風致の維持・向上に寄与する。</p>

(11) 花川自然石護岸及び水路改修事業

区分	内容
事業名	花川自然石護岸及び水路改修事業
事業主体	磐梯町
事業手法	町単独事業 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業) (平成 28 年度～平成 29 年度)
関連計画	
事業期間	平成 28 年度～平成 37 年度
事業位置	本寺地区
事業概要	<p>・史跡慧日寺跡を中心とする史跡整備にあわせ、歴史的景観を再生するため、調査に基づいた上で、現在コンクリートで舗装されている本寺地区内を流れる花川の河川改修(自然石による護岸整備)を実施する。</p> <p>・歴史性を考慮した本寺地区内の生活の中に広がる水の利用を促進するため、参道沿いの水路や生活水路などについて防災にも配慮した上で改修を行う。</p>  <p>史跡慧日寺跡周辺を流れる花川</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	生活の中に広がっていた水の魅力を発信することで、史跡慧日寺跡・慧日寺参道周辺における歴史的まちなみの再生の効果を高め、史跡慧日寺跡の認知度、価値の向上に対する理解を高めることができ、歴史的風致の維持向上に寄与する。

(12) 大寺城跡の調査・保全整備事業

区分	内容
事業名	大寺城跡の調査・保全整備事業
事業主体	磐梯町
事業手法	町単独事業
関連計画	
事業期間	平成 31 年度～平成 35 年度
事業位置	大寺地区 
事業概要	<p>慧日寺の存在を背景に、宿駅として発展した大寺地区のにぎわいを取り戻すために、大寺城跡を整備、保存活用を図り、大寺地区と一体的に周遊できるよう整備を行う。</p> <div>   </div> <div> 『会津古城図』 </div> <div> 現在の大寺城跡 </div>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	大寺地区の景観をより魅力的にするとともに、町民や来訪者が旧二本松街道を体感し、街道への認識が高まることで歴史的風致の維持向上に寄与する。

(13) 大寺地区歴史的風致保全事業

区分	内容
事業名	大寺地区歴史的風致保全事業
事業主体	磐梯町
事業手法	町単独事業
関連計画	
事業期間	平成 31 年度～平成 35 年度
事業位置	大寺地区 
事業概要	<p>大寺地区における宿駅としての歴史を体現する建造物、まちなみの保全、屋号等の案内板の整備を行う。</p> <div>   </div> <p>現在も掲げられている屋号 磐梯酒造の応接間</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	大寺地区の景観をより魅力的にするとともに、町民や来訪者が旧二本松街道を体感し、街道への認識が高まることで歴史的風致の維持向上に寄与する。

(14) 史跡慧日寺跡へのアプローチ整備事業

区分	内容
事業名	史跡慧日寺跡へのアプローチ整備事業
事業主体	磐梯町
事業手法	町単独事業
関連計画	
事業期間	平成 29 年度～平成 31 年度
事業位置	<p>慧日寺参道</p> 
事業概要	<p>史跡慧日寺跡、磐梯山慧日寺資料館、慧日寺参道へのアプローチを整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡慧日寺跡入口のサイン整備 ・参道入口のモニュメント作成 ・史跡慧日寺跡入口における花壇の整備 等
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>史跡慧日寺跡の存在を広くアピールし、来訪しやすい環境を整備することで、慧日寺の復元に向けた取り組みに対する認知を促進し、史跡慧日寺跡に係る歴史的風致の維持・向上に寄与する。</p>

(15) 大型バス迂回路整備事業

区分	内容
事業名	大型バス迂回路整備事業
事業主体	磐梯町
事業手法	町単独事業
関連計画	
事業期間	平成 30 年度～平成 33 年度
事業位置	<p>慧日寺参道入口</p> 
事業概要	<p>慧日寺跡の史跡としての価値をできるだけ多くの人に知ってもらうため、大型観光バスの迂回路を標識等とあわせて整備する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・迂回路の整備 ・標識等の整備
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>地区の歴史的な魅力を伝える史跡慧日寺跡や磐梯山慧日寺資料館へアクセスしやすい環境の整備を通じて、史跡慧日寺跡へのアプローチがスムーズになり、地域住民や来訪者が史跡を体感し、史跡慧日寺跡の認識が高まることで、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

【歴史的風致の普及啓発の推進】


(16) 磐梯山慧日寺資料館リニューアル事業

区分	内容
事業名	磐梯山慧日寺資料館リニューアル事業
事業主体	磐梯町
事業手法	町単独事業
関連計画	
事業期間	平成 30 年度～平成 32 年度
事業位置	<p>磐梯山慧日寺資料館(現在位置)</p>  
事業概要	<p>慧日寺の文化的意義に関する情報発信、教育・学習基盤施設として、昭和 62 年 8 月に開館し、歴史まちづくりの拠点として関連文化財の散逸防止、資料の保存・展示施設として大きな役割を果たしてきていることから、歴史文化の中核拠点として整備する。具体的には、映像を用いることにより、往時の門前町の雰囲気、徳一と最澄の論争等をイメージアップする。</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>磐梯山慧日寺資料館に、現在の資料展示だけでなく、近年、発達が著しい IT を活用した映像展示を活用して、往時の門前町としての状態を伝え、展示施設としての魅力を高めることにより、本町の歴史を総合的に伝えることができる。また、歴史に親しむ町民の活動の場を充実させることで、慧日寺跡と本町の歴史に親しむことができ、歴史まちづくりの推進が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

(17) 史跡慧日寺跡活用事業

区分	内容
事業名	史跡慧日寺跡活用事業
事業主体	磐梯町
事業手法	町単独事業 社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成 28 年度)
関連計画	史跡慧日寺跡保存管理計画
事業期間	平成 28 年度～平成 30 年度
事業位置	史跡慧日寺跡金堂
事業概要	<p>史跡慧日寺跡調査・保存・整備指導委員会で展示物の制作について検討し、今日まで紡いできた慧日寺を思う町民の気持ちを具現化するため、歴史的な背景に基づき、展示物の制作(町単独事業)を行う。また、復元金堂内に説明パネルや、模刻作成工程の解説公開に向けた撮影記録、史跡散策者へ音声ガイドシステムを構築する。</p> <div data-bbox="424 1155 979 1469"> </div> <div data-bbox="991 987 1326 1473"> </div> <p style="text-align: center;">史跡慧日寺跡の活用イメージ例</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>史跡慧日寺跡は、門前町として発展した本町の原点というべき地点であり、地域住民の心の拠り所として存在している。史跡慧日寺跡の理解を助ける金堂内の展示物の制作をはじめとする史跡慧日寺跡の利活用を通じて、往時の雰囲気が醸し出され、町民の歴史文化に対する意識をより一層高めるとともに、史跡の保全と活用の促進が図られることで、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>


(18) 歴史的資源周知サイン整備事業

区分	内容
事業名	歴史的資源周知サイン整備事業
事業主体	磐梯町
事業手法	町単独事業
関連計画	
事業期間	平成 28 年度～平成 30 年度
事業位置	磐梯町全域
事業概要	<p>町内に点在する遺構や歴史的建造物、文化財等の歴史的資源に触れる機会を増やし、意識を高めるため、案内板を整備する。案内板の整備にあたっては、訪日外国人旅行者を呼び込み、外国人向けの受け入れ環境の充実を図るために、多言語化の案内板等を整備する。</p>  <p>町内の案内板の例</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>本町に点在する遺構や歴史的建造物、文化財等の歴史的資源に対する認識を拡大することで、本町の歴史を理解し、町に親しみを持ち、文化財の保存、継承の意識向上や効率的な回遊ルート of 構築につながり、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

(19) 磐梯町の文化財を紹介する冊子とマップ作成事業

区分	内容
事業名	磐梯町の文化財を紹介する冊子とマップ作成事業
事業主体	磐梯町
事業手法	町単独事業
関連計画	
事業期間	平成 29 年度～平成 30 年度
事業位置	磐梯町全域
事業概要	<p>史跡慧日寺跡以外に、磐梯町に存在する様々な文化財に対する理解の深化や、文化財に触れるきっかけ、保全・利活用に対する意識形成を促進するツールとして、文化財を紹介する新たな冊子と写真スポットや口コミ等、訪れる人の目線に立った読みたくなるマップを作成する。</p>  <p style="text-align: center;">現在の観光マップ</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>磐梯町に存在する遺構や歴史的建造物、文化財等の歴史的資源に対する認識を拡大、深化させることによって、町内にある歴史文化遺産の認知向上が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

(20) 文化遺産に関する総合的な情報発信事業

区分	内容
事業名	文化遺産に関する総合的な情報発信事業
事業主体	磐梯町
事業手法	町単独事業
関連計画	
事業期間	平成 29 年度～平成 30 年度
事業位置	重点区域全域
事業概要	<p>史跡慧日寺跡を重点区域の文化遺産として広く一般に情報を発信するため、史跡慧日寺跡や徳一のDVD制作、スマートフォンを活用した文化遺産を活かした観光アプリ等の開発を行う。</p>  <p>スマートフォンを活用した公開映像</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>DVDを町内観光施設やイベント等で放映することにより、史跡慧日寺跡及び徳一について広く周知することができる。また、スマートフォンの観光アプリ等を開発することで、拡張現実技術を活用した文化財の情報発信が可能になる。来訪者の文化財等に対する認識を深めるとともに、歴史的風致を担う町民の意識向上につながることで、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

(21) 歴史を活かしたまちづくり推進事業

区分	内容
事業名	歴史を活かしたまちづくり推進事業
事業主体	磐梯町
事業手法	町単独事業
関連計画	
事業期間	平成 28 年度～平成 37 年度
事業位置	磐梯町全域
事業概要	<p>・中世から近世にかけて宿駅として発展した大寺地区や本寺地区に現在も伝わっている屋号をマップ化(可視化)する事業を通じて、地区の住民等が町の歴史を話し合い、再認識する機会を提供する。</p> <p>・関係者の意識を高めるため、歴史まちづくりやまちなみ、景観形成について、講演会や勉強会、研修、ワークショップを開催する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <p>歴史的まちなみ創生シンポジウム</p> <p>地区懇談会</p> </div>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>歴史を活かしたまちづくりの実現のためには、地域住民と行政が一体となった取り組みが必要となる。地域住民が町の歴史とまちづくりについて協議し、理解を深めることで、地域住民の合意形成と住民参画の歴史まちづくりの推進が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

(22) 歴史的風致紹介ガイド育成事業

区分	内容
事業名	歴史的風致紹介ガイド育成事業
事業主体	磐梯町
事業手法	町単独事業
関連計画	
事業期間	平成 29 年度～平成 31 年度
事業位置	磐梯町全域
事業概要	<p>史跡慧日寺跡等を訪れた観光客等に対して、会津仏教文化の拠点として存在している磐梯町の歴史と魅力を的確に知らせることができるようにするため、地域の担い手となるガイドを育成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアガイド育成のための学習活動 ・磐梯山ジオパーク協議会の活動との連携
	 <p>ガイド養成研修の様子</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>学習活動を通じた地域のガイド人材の育成を通じて、地域の遺構や歴史的建造物、文化財、歴史的なまちなみ等に対する関心が高まり、本町のシンボルとして町民共有の財産である史跡慧日寺跡を多くの人々が親しみを持って受け継げる環境が向上し、慧日寺の継承活動が継続されることで、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

(23) 広域連携推進事業

区分	内容
事業名	広域連携推進事業
事業主体	磐梯町
事業手法	町単独事業
関連計画	
事業期間	平成 28 年度～平成 37 年度
事業位置	磐梯町全域
事業概要	<p>慧日寺跡の史跡としての価値をできるだけ多くの人に知ってもらい、観光振興につなげるため、仏都会津として豊富な歴史文化的資源を擁する周辺地域との連携を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会津地方の観光協会との連携による周遊コース開発 ・周遊コースを巡る観光バスルートの誘致 ・周遊コースを巡る会津磐梯スタンプラリーの開催 ・周遊コースの魅力形成に資する磐梯山ジオパーク協議会活動の促進
	 <p>磐梯町周辺観光地</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	会津仏教文化発祥の地としての本町の認知度を向上させるため、豊富な歴史文化的資源を擁する周辺地域との連携強化を通じて、広域連携による情報発信やイベントを行うことで、歴史的風致の維持向上に寄与する。


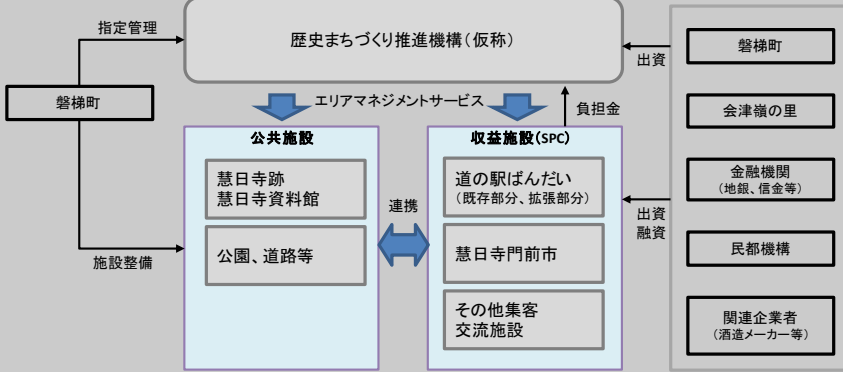
(24) 道の駅情報発信機能充実事業

区分	内容
事業名	道の駅情報発信機能充実事業
事業主体	磐梯町
事業手法	町単独事業
関連計画	
事業期間	平成 30 年度～平成 34 年度
事業位置	道の駅隣接地 
事業概要	<p>慧日寺門前町の歴史に関する様々な情報を入手することができ、歴史に関心を持った町民や来訪者が交流することができる周遊の起点として、道の駅の情報発信機能の充実強化を図るとともに、史跡慧日寺跡と相互に連携できる一体的な地域空間を創出するため道の駅の拡張整備を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・史跡慧日寺跡などの歴史を詳しく知ることのできる展示スペースの整備 ・史跡慧日寺跡と連携した回遊性を高める機能の整備 ・町民、観光客が相互に交流でき、滞留時間を伸ばすため温浴施設を整備 ・横丁型飲食・土産品販売拠点“磐梯門前プラザ”の整備 ・「歴史と食の観光拠点」としてのプロモーション <div>   </div>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>地域の集客交流の核となっている道の駅を拡張することにより、周遊の起点となり、住民だけでなく、磐梯町への来訪者を含め、広く史跡慧日寺跡に関する文化財の復元・利活用の取り組みに対する認知や歴史的風致と接する機会が増え、歴史的風致を保全していく気運の醸成が図られ、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

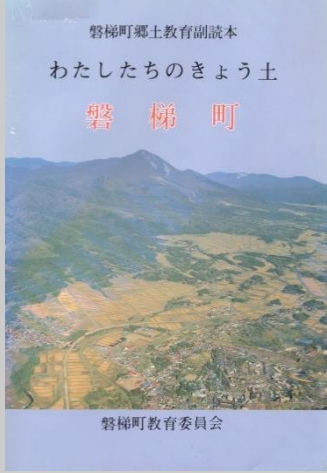
(25) 史跡慧日寺跡と道の駅ばんだいを連結するアクセス道の整備

区分	内容
事業名	史跡慧日寺跡と道の駅ばんだいを連結するアクセス道の整備
事業主体	磐梯町
事業手法	町単独事業
関連計画	
事業期間	平成 30 年度～平成 35 年度
事業位置	<p>本寺地区</p> 
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・年間 100 万人近い来訪者がある道の駅ばんだいから史跡慧日寺跡・磐梯山慧日寺資料館へのアクセスを改善するため、大谷川を横断する新しいアクセス道を整備する。 ・史跡慧日寺跡へのアクセスにふさわしいデザインの架橋を行う。
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>地域の集客交流の核となっている道の駅ばんだいと史跡慧日寺跡・磐梯山慧日寺資料館の連携を強化するためのアクセス道を整備することにより、史跡へのアプローチが可能となり、住民だけでなく、来訪者を含め、広く慧日寺に係る文化財の復元・利活用の取り組みに対する認識が高まることで、歴史的風致の維持向上に寄与する。</p>

(26) 歴史まちづくり推進機構の設立

区分	内容
事業名	歴史まちづくり推進機構の設立
事業主体	磐梯町
事業手法	町単独事業
関連計画	
事業期間	平成 29 年度～平成 35 年度
事業位置	<p>重点区域周辺で実施を予定する事業のうち、下図の事業に係る施設をエリアマネジメントの対象とする。</p> 
事業概要	<p>主要集客交流施設である史跡慧日寺跡・磐梯山慧日寺資料館、道の駅ばんだい周辺地域で、官民連携によるエリアマネジメントを実施する地区の一体的な管理運営組織として、「歴史まちづくり推進機構(仮称)」をまちづくり会社方式で設立する。</p> 
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	<p>史跡慧日寺跡と道の駅ばんだい等の集客交流拠点の一体的な管理・運営を推進することによって、住民と協働による歴史まちづくりの気運が醸成され、歴史的風致の維持・向上に寄与する。</p>

(27) 磐梯町歴史文化読本作成事業

区分	内容
事業名	磐梯町歴史文化読本作成事業
事業主体	磐梯町
事業手法	町単独事業
関連計画	
事業期間	平成 29 年度～平成 30 年度
事業位置	磐梯町全域
事業概要	<p>磐梯町の歴史や伝統の理解と生まれ育った郷土愛を育むため、副読本を作成する。</p>  <p>平成5年(1993)作成副読本『わたしたちの郷土』</p>
事業が歴史的風致の維持向上に寄与する理由	町内の小中学生向けの学校教材を作成することで、若年層の歴史に触れる機会を創出するとともに、磐梯町の歴史や伝統に関する理解の深化が図られることで、歴史的風致の維持・向上に寄与する。